

3年次フォロー研修会

(建築系技術者向け)

社団法人
東京建設業協会

建設業界に入り、3年目を迎えた若手建築技術者向けに研修会を開催いたします。

2年を経過し、現場にも慣れて、自身の現場管理や工事運営のスタンスも確立されつつあることと思います。しかしながら、現場管理に終わりではなく、日々の問題発見とその解決のための改善努力が、管理能力の向上につながります。

今回の研修会では、3年次を迎えた技術者に求められる能力を「品質」「原価」「工程」「安全」の4つの面を中心に講義いたします。

開催日時

平成19年9月28日(金) 午前10時～午後4時30分 (午前9時30分より受付)

テーマ

1. 建設業界を取り巻く状況
 - ①建設業の現状 (2007・建設業ハンドブックより)
 - ②建設市場の変化と建設企業の対応 (グローバル化、規制緩和、少子・高齢化、顧客ニーズの多様化等にどのように対応していくのか?)
2. 現場の若手技術者の状況 (BCS関西支部「現場の悩みおまかせください」より、みんな悩みを抱えています)
3. 現場所長が期待する3年生の4要素 (品質、原価、工程、安全)
 - ①いいものを作ろう (顧客の要求を満足し、創る喜びを感じる)
 - ……………躯体図をチェックしよう
 - ……………配筋図を書いてみよう
 - ……………コンクリートの打設計画をしてみよう
 - ……………屋根のアスファルト防水の納まりを考えよう
 - ……………RC躯体とAWの標準納まりを理解しよう
 - ②利益を出してこそ社会に認められる (正当な利益を上げて、儲ける喜びを感じる)
 - ……………基本はムダ・ムリ・ムラを排除しての効率化
 - ……………VE提案をしてみよう
 - ……………専門工事業者への発注
 - ……………歩掛りデータを活用しよう
 - ③仕事には必ず納期がある (工事の流れを創って、仕切る喜びを感じる)
 - ……………全体工程表を作成してみよう
 - ……………工程管理の要点はこれだ
 - ④事故を起こせばすべての努力は水の泡 (無事故・無災害で、竣工の喜びを感じる)
 - ……………計画段階で危険要因を排除しよう
 - ……………事故の発生しにくい、明るい作業所を作ろう
 - ……………必要な時には毅然とした対応を
4. まとめ
 - ・コミュニケーション能力を磨こう
 - ・困難な状況でもやり抜く、熱いHEARTを

講師

安藤建設株式会社
建築本部 生産技術開発部長 荻原克也氏

受講料

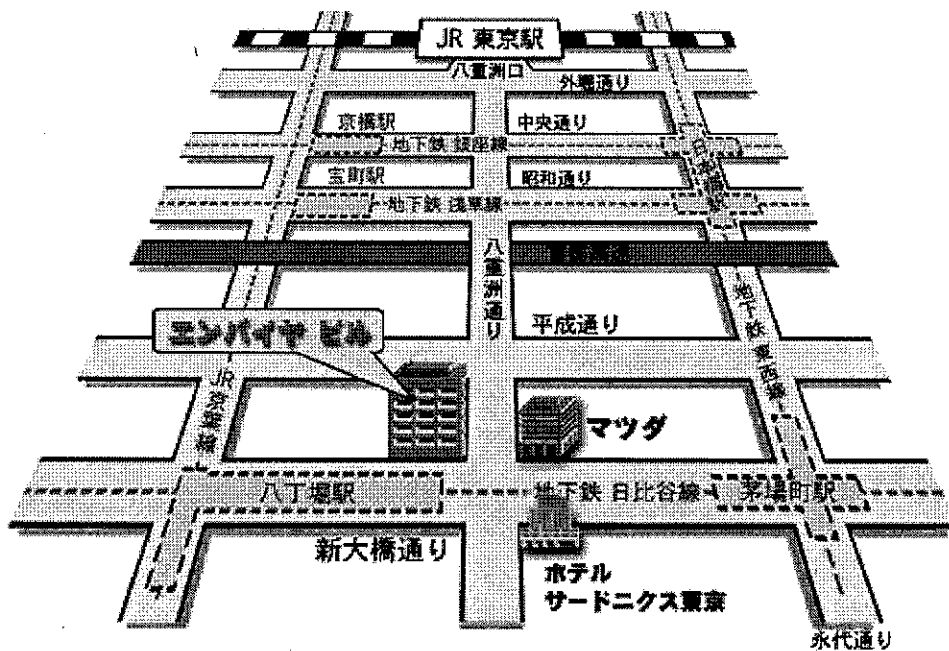
無料

定員・申込方法

- ・定員40名
- ・申込用紙に記入の上、FAX (03-3555-2170) にてお申込みください。
- ・申込み受付後、受付番号を記入し、折り返しFAXにて返信いたします。
- ・定員の都合などで、受け付けられない場合は、その旨ご連絡いたします。
- ・当日は、受付済の申込用紙をご持参ください。

会場

エンパイヤビル「第一会議室」中央区八丁堀2-23-1〔電話03-3555-6041〕



【最寄駅のご案内】

東京メトロ 日比谷線	【八丁堀】 駅	A5出口	徒歩1分
東京メトロ 東西線	【茅場町】 駅	5または2番出口	徒歩約5分
JR京葉線	【八丁堀】 駅	B1出口	徒歩約3分
都営地下鉄浅草線	【宝 町】 駅	A2出口	徒歩約7分
JR線	【東 京】 駅	八重洲口より	徒歩約13分

問い合わせ先

社団法人 東京建設業協会 講習会係 (電話 03-3552-5656 FAX 03-3555-2170)
〒104-0032 中央区八丁堀2-5-1 東京建設会館5階
当協会の各種研修会は、ホームページ (<http://www.token.or.jp>) にてご案内しております。